

令和元年度地方創生ストリートミーティング【首都圏若者編】
意見と回答・対応方針

No.	ご意見・ご要望	各課回答・対応方針	担当課
1	鳥取は首都圏でも認知されていると思う。いかに鳥取市内に滞在して観光してもらうかを考えることが大切。旅行会社と提携して、モデルプランや交通・宿泊・体験がパッケージとなったものをいくつか用意してはどうだろうか。	本市では、滞在型観光の推進のため、山陰海岸ジオパークをいかした取組の推進や砂の美術館の充実、地域の観光資源の磨き上げを行うとともに、砂丘でのヨガやパラグライダー、湖山池遊覧船など体験型観光に取り組む事業者との連携や支援を行っています。 また、本市は、麒麟のまち観光局（DMO）を鳥取県東部4町と兵庫県北西部2町と共に立ち上げ、連携して圏域の魅力ある観光資源をいかした周遊ルートの造成や販売、一体的な情報発信に取り組んでいます。引き続き、本市や圏域での周遊、滞在を促進し、観光都市鳥取を目指します。	観光・ジオパーク推進課
2	親から卒業したら鳥取に帰ってきたらと言われるが、就職を考えるとやりたい仕事が鳥取にはないと思う。	本市は雇用の場を創出し、地域経済の発展に資するため、企業の誘致活動を積極的に行っており、これまで、成長産業と呼ばれる航空機・自動車、医薬品などの製造業に加え、事務系企業、IT系企業の誘致も行っています。 また、地元企業の生産性向上や従業員の処遇改善に資する取組に対する支援も行っています。 若者にとって魅力ある働き場の選択肢が増えるよう、今後も企業誘致による地域経済の活性化と地元企業の付加価値向上を推進していきます。	企業立地・支援課
3	大学進学で県外に出ると、大学卒業後に地元に戻ろうと思った際の就職先のイメージが浮かばない。高校生や大学生にインターンシップをしたらいいと思う。大学1年生の帰省時などのタイミングはどうか。	本市では、県外進学前に地元企業を知っていただき、Uターン就職に向けた参考としてもらうため、高校生を対象としたバス企業見学会を実施し、参加いただいた学生に鳥取県東部地域の企業ガイドを配布しています。鳥取県内外の大学生に向けたインターンシップについては、鳥取県中小企業団体中央会が取り組んでおられるため、学生への周知等について引き続き連携していきたいと考えます。	経済・雇用戦略課

○その他意見

- ・鳥取県には砂丘しかないと思っていたが、行ってみると、浦富でカヤック、用瀬でガイドブックにのっていない自然の魅力を感じた。また行きたい。
- ・鳥取県には海も山もある。シーカヤックや登山どちらも楽しめるのが魅力。
- ・全国的にみるとスポーツが弱い。スポーツに力を入れてほしい。